

第21回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2012年6月5日(火)14時30分～16時00分
2. 場所 日本自動車会館11階
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 大杉座長、渡邊委員、石川委員
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省・環境省担当官
4. 議題 1. 2011年度離島対策等支援事業 実績報告
2. 不法投棄等対策支援事業要綱等の改訂

5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2011年度離島対策等支援事業 実績報告について説明。

(委員)

収支報告の中で、出えん総額が前年度より減少した理由が述べられているが、それぞれの影響額を知りたい。

(再資源化支援部)

それぞれの影響額は、長期借入金の完済により23百万円、東日本大震災後の中古車価格高騰による買い替えの減少により17百万円、出えん対象期間及び出えん時期の変更により12百万円である。

(委員)

台当りの平均輸送単価が前年度第3四半期時点より212円上昇した理由として、輸送単価が安価な佐渡市における申請台数の減少を理由として挙げているが、それ以外の地域での輸送単価に変化は無いか。

(再資源化支援部)

輸送単価に大きな変化はなかったが、一部の市町村で島内での減容化がされ

ず、若干の上昇があった。

(委員)

申請市町村が前年度より8市町村減少しているが、今年度の申請期間が第3四半期までとなったことが影響しているのか。

(再資源化支援部)

一部の中小規模離島市町村は、申請台数が少ないことから1年に1回まとめて申請を行うところがあり、第4四半期の申請期日を5月10日に変更したため、今年度はその移行期としての影響があった。

(委員)

西之表市で受付業務の不備が判明し、同市から45万円の出えん金の返還を受けたとあるが、発見したきっかけは何だったのか。

(再資源化支援部)

再資源化支援部が市町村を訪問して行っている受付業務確認検査にて判明した。西之表市への検査は2回目であり、前回検査時の指摘事項が殆ど改善されていなかったため、念のため過去の申請車台を全件確認したところ、133台の不備が判明した。

(委員)

133台の出えん対象外の車台が申請されていたとあるが、どのような車台か。

(再資源化支援部)

出えん対象外の車台とは、自動車リサイクル法に定められた移動報告が実施されておらず、リサイクルルートにて処理されたことが確認できない車台である。

(委員)

西之表市の事例を考えると、他の市町村においても適正な業務が行われていることを確認すべきではないか。

(再資源化支援部)

再資源化支援部では、今回の事例を受け、今年度の申請車台に係る証憑の

提出を全市町村に求め、適正な業務が実施されていることを確認した。引き続き、市町村訪問時の受付業務確認検査を実施するとともに、順次市町村を抽出し、同証憑確認を実施していく。

(委員)

市町村担当者の異動により、申請手続きが一部で滞ることが過去に報告されたことがあったが、最近はどうか。

また、市町村の新任担当者に対する支援はどのように行っているのか。

(再資源化支援部)

申請手続きの遅滞は、減少傾向にある。再資源化支援部では、市町村担当者の変更の連絡を受けると、その都度、新任担当者に対し関係資料の送付及び不明点の確認を行っている。

(委員)

市町村の事業計画精度向上支援で、情報提供を行ったとあるが、具体的にどのような情報を提供したのか。

(再資源化支援部)

離島規模別の自動車の耐用年数、保有台数集計時の留意点、島内関連事業者の年間処理台数及び距離別の海上輸送単価等の情報を提供した。

(委員)

議題1. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題2. 不法投棄等対策支援事業要綱等の改訂について説明。

(委員)

議題2. については、承認する。

(再資源化支援部)

離島対策等検討会での承認を受け、要綱及び手引書は、7月1日にホームページ上に公開する。

以上